

## 4 課題の背景

## スタート

委員委嘱式とお互いを知り合うワークショップ【第1回平成19年3月29日】

Step  
1

生駒のよいところ あらためたいところ【第2回平成19年4月11日グループ討論から】

## よいところ 残したいもの 好きなところ

## 自然

緑が多い、自然が多い 自然と街がうまく共存している  
身近にある多くの自然とその風景  
身近な緑と大きな緑が調和している  
田園風景、ほどよく田舎  
都市に近いのに自然が多い 自然と都市が接近している  
大阪や京都に近いのに、まだ田舎なところ  
夜が暗い 夜景がきれい  
四季の変化が美しい  
生駒山の四季折々の風景、眺め（登山にもよい）  
生駒山に沈む夕日  
矢田丘陵の雑木林  
山が身近にあり、ひろびろとしている  
竜田川の桜 富雄川の風景 川に魚がいる  
生駒山からの水のながれ 水がおいしい  
くろんど池付近の景観  
気候が良い、夏は涼しく、空気も良い

## まち・社会インフラ

公園、図書館、コミュニティセンターなど公共施設が充実  
大阪府、奈良市へのアクセスが便利  
田舎暮らしも楽しめ、都会へのアクセスもよい  
仕事と生活の区別ができる  
自然と調和した美しい住宅地  
身近な場所に自然とふれあう場所がある  
小学校の通学路途途中で遊び場が多い  
買い物などの面でも住みやすい  
びっくり通り商店街の風情  
散歩できる歩道がある  
騒音がほとんどなく静か  
市内の道路にごみが少なくきれい、街がきれい  
まちと田舎が共存しているところ  
寿大学の開催 教育環境に恵まれている  
学校で子どもにお茶を教えてくれる  
バランスの良いまち

## 産業

高山を中心とした地場産業（茶釜づくりなどの伝統産業）

## 歴史・景観

歴史的な文化財、国宝級の神社・仏閣が多い  
伝統行事が多く残っている  
門前町から宝山寺への歴史を感じさせる景観  
暗峠の風情  
西畑町の棚田景観

## 人情

子どもが元気 地域の人が親切 人が良い  
小学校の教師や保護者がとても協力的  
住民が上品、おとなしい  
治安がよい、平和 文化がある  
リズムがゆったりとしている

## あらためたいところ よくないところ

## 自然

竜田川が汚い 河川環境が劣悪 水量が少ない  
池が汚い ため池がなくなりつつある  
親しめる水辺が少ない  
富雄川の護岸が人工的 川が人工的すぎる  
里山が放置され荒廃している  
遊休農地が増加している  
歴史性など、生駒らしさが活かされていない  
宅地開発で自然破壊がすすんでいる

## まち・社会インフラ

東西と南北において交通の便利さに差がある  
市内移動が不便 住居地が飛び地で交通機関での移動が不便  
車がないと移動が不便  
施設の利用が不便  
都会への通勤者が多く、家には寝に帰るだけの人が多い  
幹線道路の街並み景観がよくない  
環境関連情報を統一的に学べる施設がない  
宅地が進み、緑が減少している まちなかの緑が少ない  
駅前付近に自然が少ない  
不法投棄のごみが目につく  
山麓公園の下の山道にごみが山積している  
行政施策が中地区中心に感じる  
バス路線が充実していない  
自転車や徒歩で安全に生活できる街になっていない  
町中や駅周辺は歩道が狭く、ゆったりと歩けない  
自転車で楽しめる場所が少ない  
生駒駅周辺の車・自転車の駐車マナーが悪い  
交通渋滞がひどい  
子どもの居場所が少ない  
博物館・科学館など子どもが楽しめる施設が少ない  
娯楽施設、遊ぶ所が少ない  
ハコモノ施設が多い  
憩える公園が少ない

## 産業

地元の特産物が少ない あっても知られていない  
いろんな世代の人が楽しめる街になっていない  
観光地が少ない  
商店街から活気なくなりつつある  
旅館がさびれてきている

## 歴史・景観

ごみの分別が甘い 住民のごみへの意識もすごく低い  
草木ごみの収集がない  
暮らしが豊かすぎる（エネルギーを使い過ぎ）  
坂道が多く、買い物が大変

## 人情

人のつながりが弱い  
まちづくり活動に参加される人が固定化している  
やや排他的なところ  
文化をつなぐ力が弱い  
転入者が多いためか、他地域と比較されることが多い  
物事を行政や他人任せにするところがある  
自治会に参加してくれない転入者が多い

テーマ・分野別学習とさらなる問題の洗い出し【第3回から17回まで】

Step  
2

分野別学習  
【第3回から第12回】

- 第3回 平成19年4月25日(水)  
テーマ「地球環境問題」  
グループワーク「コミュニケーション演習」
- 
- 第4回 平成19年5月9日(水)  
テーマ「生駒市内の環境活動、実践者からの報告」  
グループワーク「こんな生駒に住みたい。  
こんな生駒にしたい」
- 
- 第5回 平成19年5月23日(水)  
テーマ「生駒市の計画体系、環境基本計画の位置づけ」  
「地球温暖化の現状と将来予測」  
グループワーク「私の暮らしと環境とのつながり」
- 
- 第6回 平成19年6月6日(水)  
テーマ「生駒市のごみ問題を考えよう」  
(分野別・現計画の到達評価1)  
グループワーク「生駒のごみ問題、ここが気になる」
- 
- 第7回 平成19年6月23日(土)  
テーマ「ごみ・自然フィールドワーク」  
視察先 エコパーク21、花のまちづくりセンター  
ふるーらむ、清掃センター、竜田川浄化センター
- 
- 第8回 平成19年7月11日(水)  
テーマ「生駒の自然」(分野別・現計画の到達評価2)  
グループワーク「生駒市の自然・好きなところ、  
問題だと思ふところ」
- 
- 第9回 平成19年7月25日(水)  
テーマ「生駒の交通」(分野別・現計画の到達評価3)  
グループワーク「交通に関して、ここが問題」
- 
- 第10回 平成19年8月8日(水)  
テーマ「エネルギー」(分野別・現計画の到達評価4)  
グループワーク「どんなところで電気利用が増えたか」
- 
- 第11回 平成19年8月22日(水)  
テーマ「事業者の取り組み」
- 
- 第12回 平成19年9月15日(土)  
テーマ「ごみ・自然フィールドワーク」  
視察先 関西メタルワーク株式会社、高山竹林園

上記の「現計画」とは、平成10年度策定の「生駒市環境基本計画」のことです。

分野ごとの問題と課題は、15～18ページを、プロジェクトについては、第2章(24ページ以降)をご覧ください。

Step  
3

分野ごとの問題の洗い出し  
【第13回から第17回】

- 第13回 平成19年9月26日(水)  
テーマ「生駒のごみ問題」  
「9月15日 フィールドワークの成果共有」
- 
- 第14回 平成19年10月10日(水)  
テーマ「生駒の交通の問題を明らかにしよう」
- 
- 第15回 平成19年10月24日(水)  
テーマ「生駒のエネルギー問題を明らかにしよう」
- 
- 第16回 平成19年11月7日(水)  
テーマ「生駒の自然の問題の洗い出し」
- 
- 第17回 平成19年11月21日(水)  
テーマ「生駒市の環境教育、問題と感じていること、  
実現したいこと」

Step  
4

部会の設定と、関心分野ごとに  
所属分け【第18回から第19回】

- 第18回 平成19年12月5日(水)  
テーマ「委員会の広報と部会設定」
- 
- 第19回 平成19年12月19日(水)  
テーマ「計画策定部会の確定と 分野ごとの問題  
の洗い出し」  
以降、下記4部会により、問題の整理・優先順位付け  
などの作業をすすめました。

自然環境部会

せいかつ環境部会

まち・みち環境部会

エネルギー環境部会

Step  
5

問題の整理と課題設定  
【第20回から第23回】

- 第20回 平成20年1月9日(水)  
テーマ「今後の進め方、必要な作業/各部会で  
生駒の問題の洗い出し」
- 
- 第21回 平成20年1月23日(水)  
テーマ「各部会で生駒の問題の洗い出し」
- 
- 第22回 平成20年2月13日(水)  
テーマ「問題の優先順位を整理する」
- 
- 第23回 平成20年2月27日(水)  
テーマ「企画の立て方 問題を課題に変える」  
以降、各部会にて「課題解決・改善のためのプロジェ  
クト」立案をすすめました。「策定までの足跡(年表)」  
87ページ以降をご覧ください。